

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-338032

(43)Date of publication of application : 07.12.2001

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
B65G 1/137

(21)Application number : 2000-158544

(71)Applicant : NISHIGUCHI KENGO

(22)Date of filing : 29.05.2000

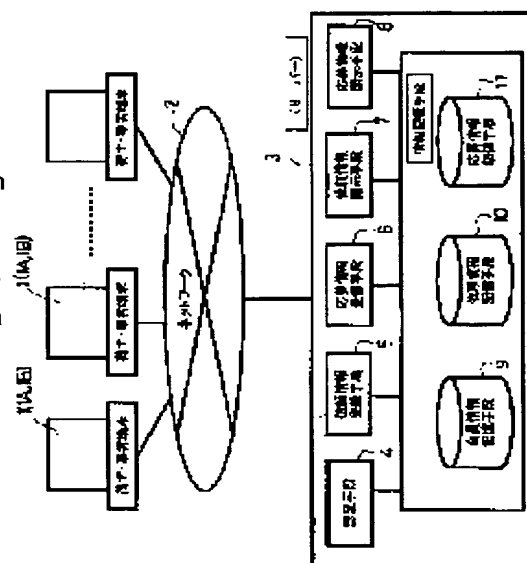
(72)Inventor : NISHIGUCHI KENGO

(54) INTEGRATED IMPORT AND EXPORT SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an integrated import and export system by which a cargo owner enterprise can easily and inexpensively carry out the execution of an importing and exporting task.

SOLUTION: A terminal 1A of a cargo owner who tries to execute an importing and exporting task is connected through the Internet 2 to a terminal 1B of an agent who performs various tasks related with the import and export. This system is provided with a request information registering means 5 for receiving request information elated with goods related with a specific item or the export or the like, and for registering it in an information storing means 10, a request information publishing means 7 for obtaining the request information from the information storing means 10, and for publishing it to the agent terminal, an application information registering means 6 for receiving application information including the estimate from the agent terminal who desires task acceptance related with the specific item, and an application information publishing means 8 for publishing the application information received from the agent terminal to the owner terminal of the specific item.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-338032
(P2001-338032A)

(43) 公開日 平成13年12月7日 (2001. 12. 7)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	1 1 4	G 0 6 F 17/60	1 1 4 3 F 0 2 2
	3 1 4		3 1 4 5 B 0 4 9
	3 1 8		3 1 8 A
B 6 5 G 1/137	Z E C	B 6 5 G 1/137	Z E C A

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 33 頁)

(21) 出願番号 特願2000-158544 (P2000-158544)

(22) 出願日 平成12年5月29日 (2000. 5. 29)

(71) 出願人 300037405

西口 憲五

大阪府八尾市高美町3丁目1番47号

(72) 発明者 西口 憲五

大阪府八尾市高美町3丁目1番47号

(74) 代理人 100085316

弁理士 福島 三雄 (外2名)

Fターム(参考) 3F022 MM08 MM11 MM21 PP01 PP03
PP04

5B049 BB31 CC05 CC08 CC11 DD01

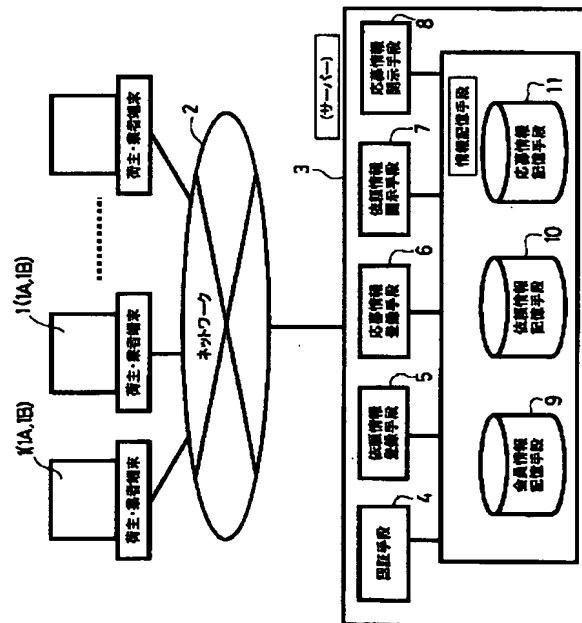
EE23 GG07

(54) 【発明の名称】 輸出入統合システム

(57) 【要約】

【課題】 荷主企業が輸出入業務の遂行を簡易且つ安価に実行することができる輸出入統合システムの提供。

【解決手段】 輸出入を行おうとする荷主の端末1Aと、輸出入に関連して各種業務を行う業者の端末1Bとにインターネット2を介して接続される。荷主端末から、特定案件についての貨物やその輸送等に関する依頼情報を受信して情報記憶手段10に登録する依頼情報登録手段5と、依頼情報を情報記憶手段10から取得して業者端末に開示する依頼情報開示手段7と、特定案件について業務受託を希望する業者端末から、その見積を含んだ応募情報を受信する応募情報登録手段6と、業者端末から応募情報を受信した場合に、その応募情報をその特定案件の荷主端末に開示する応募情報開示手段8とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 輸出ないし輸入を行おうとする荷主の端末と、輸出入に関連して各種業務を行う業者の端末とにネットワークを介して接続可能とされた輸出入統合システムであって、荷主端末から、特定案件についての貨物やその輸送等に関する依頼情報を受信して情報記憶手段に登録する依頼情報登録手段と、

前記依頼情報を情報記憶手段から取得して業者端末に開示する依頼情報開示手段と、

特定案件について業務受託を希望する業者端末から、その見積を含んだ応募情報を受信する応募情報登録手段と、

業者端末から前記応募情報を受信した場合に、その応募情報をその特定案件の荷主端末に開示する応募情報開示手段とを備えることを特徴とする輸出入統合システム。

【請求項2】 前記業者には、船会社、倉庫会社、陸運会社、通関業者、荷役会社又は損保会社等の内、いずれか一以上の業者が含まれており、

荷主からの前記依頼情報には、輸出入したい貨物内容に関する貨物情報、荷積ないし荷揚の場所ないし時期に関する仕向地情報、国内の各種作業ないし手続等に関する国内輸送情報、業務委託したい業務種別に関する業務委託範囲情報が含まれていることを特徴とする請求項1に記載の輸出入統合システム。

【請求項3】 輸出ないし輸入を行おうとする荷主の端末と、輸出入に関連して各種業務を行う業者の端末とにネットワークを介して接続可能とされた輸出入統合システムであって、

業者端末から、業務の受託希望に関する依頼情報を受信して情報記憶手段に登録する依頼情報登録手段と、

前記依頼情報を情報記憶手段から取得して荷主端末に開示する依頼情報開示手段と、

特定案件について業務委託を希望する荷主端末から、見積依頼を含んだ応募情報を受信する応募情報登録手段と、

荷主端末から前記応募情報を受信した場合に、その応募情報を対応する業者端末に開示する応募情報開示手段とを備えることを特徴とする輸出入統合システム、又は請求項1若しくは請求項2に記載の輸出入統合システム。

【請求項4】 前記業者には、船会社、倉庫会社、陸運会社、通関業者、荷役会社又は損保会社等の内、いずれか一以上の業者が含まれており、

前記業者が船会社の場合、前記依頼情報には、船の入出港スケジュールや空スペースに関する情報が含まれており、

前記業者が倉庫会社の場合、前記依頼情報には、空スペースに関する情報が含まれており、

前記業者が陸運会社の場合、前記依頼情報には、車両の運行スケジュールや空スペースに関する情報が含まれて

おり、

前記業者が通関業者の場合、前記依頼情報には、通関手続の請負に関する情報が含まれており、

前記業者が荷役会社の場合、前記依頼情報には、荷積ないし荷揚の請負に関する情報が含まれており、

前記業者が損保会社の場合、前記依頼情報には、保険契約の請負に関する情報が含まれていることを特徴とする請求項3に記載の輸出入統合システム。

【請求項5】 荷主及び業者に関する情報が登録された会員情報記憶手段と、

依頼情報登録手段による依頼情報の登録、ないし依頼情報開示手段による依頼情報の開示に先立って、その依頼情報を登録ないし閲覧しようとする荷主ないし業者が正規の会員か否かを認証する認証手段とをさらに備えることを特徴とする請求項1から請求項4までのいずれかに記載の輸出入統合システム。

【請求項6】 依頼情報登録手段による荷主端末ないし業者端末からの依頼情報の登録、依頼情報開示手段による業者端末ないし荷主端末への依頼情報の開示、応募情報登録手段による業者端末ないし荷主端末からの応募情報の登録が、インターネットホームページを用いて行われ、

荷主端末ないし業者端末への応募情報の開示が、荷主ないし業者宛ての電子メールにて行われることを特徴とする請求項1から請求項5までのいずれかに記載の輸出入統合システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、輸出入業者（荷主企業）が輸出入業務の遂行を簡易且つ安価に実行することを支援するための新規な輸出入統合システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、輸出業務は、一般的に次のような流れでなされている。

（1）まず、輸出先の相手との間で、輸出契約の締結がなされ、輸出先から信用状（L/C）を受領したり、通産省に対し許認可申請をしたりする。

（2）次に、必要ならば輸出会社（甲）は、輸出契約に基づき、納期に見合った船便にスペースを確保する。つまり、船会社との間で船腹手配に関する契約を締結する。

（3）次に、必要ならば輸出保険契約を行う。つまり、損保会社との間で保険契約を締結する。

（4）次に、輸出商品を輸出会社の自社倉庫（工場）から、積出港の保税倉庫へ輸送する。つまり、運輸（陸運）会社と契約して、貨物を保税倉庫まで輸送する。

（5）次に、その輸出商品を保税倉庫へ搬入する。このために、倉庫会社との間で契約を締結する。

（6）輸出商品の荷姿、容積、重量を検量する。これに

は、検査業者との間で契約を締結して行う。

(7) 税関への輸出申告手続の代行を海運貨物取扱業者(乙仲、通関業者)に依頼する。

(8) 輸出申告に基づき保税倉庫から荷役埠頭へ輸出商品を搬出する。これには、荷役会社と契約を締結して行う。

(9) 荷役会社及び船会社との協力で、輸出商品を船積みする。

(10) 船積みに伴って、船会社から船荷証券(B/L)を受領する一方、輸出先への船積案内を送付する。また、取引銀行へ船積書類の買い取りを依頼して、買い取り代金を受領する。

【0003】一方、輸入業務は、一般的には、次のような流れでなされている。

(1) まず、輸入先の相手との間で、輸入契約の締結がなされ、通産省に対し許認可申請を行ったりする。また、輸入先には、信用状開設依頼を行う。

(2) 次に、必要ならば輸入会社(甲)は輸入契約に基づき、納期に見合った船便にスペースを確保する。つまり、船会社との間で契約を締結する。

(3) 次に、必要ならば、輸出保険契約を損保会社との間で締結する。

(4) 輸入先から船積案内書類を受領すると共に、船会社から貨物到着案内を受領する。そして、輸入商品が荷降港に到着する前に通関・荷受(税関への輸入申告代行)依頼をする。これには、海運貨物取扱業者(乙仲)へ依頼する。

(5) 船が到着したら、船会社や荷役会社の協力で、輸入商品を陸揚する。また、取引銀行との間で、船積書類到着通知、輸入手形決済・引受、船積書類(B/L)受領がなされる。

(6) 陸揚した輸入商品は一旦保税倉庫へ搬入される。これには、倉庫会社との間で契約を締結する。

(7) 通関手続が完了し、搬出届が受理されると、輸入商品を保税倉庫から搬出する。これには、運輸(陸運)会社と契約を締結して、依頼する。

(8) 保税倉庫から搬出以後は、国内貨物同様に取り扱うことになる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の方法では、荷役企業は、低コストで効率のよい輸出入関連企業を自由に、手早く、容易に選択することができなかった。また、輸出入関連企業の側からも、従来の方法では、荷主企業に対し低コストの役務を積極的に提案することができなかった。

【0005】本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、その主たる目的は、荷主企業が輸出入業務の遂行を簡易且つ安価に実行することができ、輸出入関連企業の側から低コストのサービスを積極的にアピールすることのできる輸出入統合システムを提供することにあ

る。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明の第1の輸出入統合システムは、輸出ないし輸入を行おうとする荷主の端末と、輸出入に関連して各種業務を行う業者の端末とにネットワークを介して接続可能とされた輸出入統合システムであって、以下の構成要件を備えることを特徴とする。

(1) 荷主端末から、特定案件についての貨物やその輸送等に関する依頼情報(案件情報)を受信して情報記憶手段に登録する依頼情報登録手段。

(2) (業者端末からの依頼情報の閲覧要求に対し)前記依頼情報を情報記憶手段から取得して業者端末に開示する依頼情報開示手段。

(3) 特定案件について業務受託を希望する業者端末から、その見積を含んだ応募情報を受信(して情報記憶手段に登録)する応募情報登録手段。

(4) 業者端末から前記応募情報を受信した場合に、その応募情報をその特定案件の荷主端末に開示する応募情報開示手段。

【0007】また、本発明の第2の輸出入統合システムは、輸出ないし輸入を行おうとする荷主の端末と、輸出入に関連して各種業務を行う業者の端末とにネットワークを介して接続可能とされた輸出入統合システムであって、以下の構成要件を備えることを特徴とする。なお、前記第1の輸出入統合システムと一体化することもできる。

(1) 業者端末から、業務の受託希望に関する依頼情報(業者情報)を受信して情報記憶手段に登録する依頼情報登録手段。

(2) (荷主端末からの依頼情報の閲覧要求に対し)前記依頼情報を情報記憶手段から取得して荷主端末に開示する依頼情報開示手段。

(3) 特定案件について業務委託を希望する荷主端末から、見積依頼を含んだ応募情報を受信(して情報記憶手段に登録)する応募情報登録手段。

(4) 荷主端末から前記応募情報を受信した場合に、その応募情報を対応する業者端末に開示する応募情報開示手段。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の輸出入統合システムについて、更に詳細に説明する。図1は、本発明の輸出入統合システムの一実施例のシステム構成図である。

【0009】この実施例の輸出入統合システムは、輸出入を希望する荷主企業と、輸出入に関連して各種業務を遂行する船会社、倉庫会社、陸上輸送会社、通関手続会社(乙仲)、荷役会社、損害保険会社等をネットワーク(インターネット)上で結び、それぞれの情報交換の場として、入札業務、引合い、見積り受発注業務等を円滑に行うのを支援するシステムである。

【0010】各荷主の側には、それぞれ荷主端末1 Aが備えられている。また、船会社、倉庫会社、陸運会社、通関手続会社、荷役会社、損保会社等の各輸出入関連企業の側にも、それぞれ業者端末1 Bが備えられている。なお、実際には、インターネットの利用者の内、本システムへの会員登録やメニューの選択に応じて、荷主端末1 Aないし業者端末1 Bに分かれることになる。

【0011】荷主端末1 Aと業者端末1 Bは、それぞれ本システムのサーバ3と双方向通信可能に通信回線を介して接続可能とされている。ここでは、インターネット

10 からなるネットワーク2を介して接続可能とされている。

【0012】各荷主端末1 A及び各業者端末1 Bは、荷主ないし業者により操作される入出力装置であり、本実施例ではパーソナルコンピュータから構成されている。すなわち、例えばパソコン本体、キーボードやマウス、ディスプレイの他、サーバ3との通信を可能にするためにモデムないしターミナルアダプター等と、WWWブラウザやメールソフト等からなる通信手段などを備えて構成されている。なお、荷主端末1 Aや業者端末1 Bは、

20 パソコンに限らずその他の各種端末とすることができるのは勿論である。例えば、携帯電話やPHS等の各種携帯端末等としてもよい。

【0013】本実施例のサーバ3は、一以上の荷主端末1 A及び業者端末1 Bと双方向通信可能とされており、会員登録、情報登録、情報開示、個別通知の各手段と、会員情報やログ情報、ウェブ情報、課金情報等の各種情報が記憶された情報記憶手段とを備えている。具体的には、認証手段4、依頼情報登録手段5、応募情報登録手段6、依頼情報開示手段7、応募情報開示手段8と、会員情報記憶手段9、依頼情報記憶手段10、応募情報記憶手段11などの他、前記各端末（荷主端末1 A、業者

30 端末1 B）との間での通信を可能にするための通信手段などを備えて構成されている。

【0014】認証手段4は、本システムを利用するに先立って、その利用しようとする者が正規の会員か否かを認証するための手段である。例えば、依頼情報登録手段5による依頼情報の登録、依頼情報開示手段7による依頼情報の公開、ないし応募情報登録手段6による応募情報の登録に先立って、それら情報を登録ないし閲覧しようとする荷主ないし業者が正規の会員か否かを認証する手段である。

40 【0015】認証手段4を設けたことから分かるように、本実施例のシステムは、会員登録した者のみが利用可能とされている。すなわち、荷主ないし業者は、まずオンライン（ないしオフライン）にて自己の属性情報等の会員情報（企業名、住所、電話番号、FAX番号、Eメールアドレス、業種等）を会員情報記憶手段9に登録する。これにより、ユーザIDとパスワードの設定を受け、以後はそのユーザID（会員コード）とパスワード

を用いて認証手段4にて認証を受けることで、本システムの各種サービスを受けることが可能とされる。なお、会員情報記憶手段9は、上記会員情報を記憶する手段であり、本実施例ではデータベースから構成される。

【0016】依頼情報登録手段5は、荷主端末1 Aないし業者端末1 Bから依頼情報を受信して、その依頼情報を依頼情報記憶手段10に登録するための手段である。依頼情報の入力は、インターネットホームページを介して端末1側から直接的に行われる。なお、依頼情報記憶手段10は、上記依頼情報を記憶する手段であり、本実施例ではデータベースから構成される。

【0017】依頼情報には、荷主側からの案件情報と、船会社等の業者側からの業者情報とに分けられる。案件情報とは、特定案件についての貨物やその輸送等に関する情報であり、例えば荷主の名称や所在地等の荷主自体に関する荷主基本情報と、輸出入したい貨物内容に関する貨物情報、荷積ないし荷揚の場所ないし時期に関する仕向地情報、国内の各種作業（輸送を含む）ないし手続等に関する国内輸送情報、業務委託したい業務種別に関する業務委託範囲情報、応募受付期間、情報掲示期間等が含まれる。なお、ここで指定した情報掲示期間だけ、ネット上で情報公開に供されることになる。

【0018】業者情報とは、各種業務の受託希望に関する情報であり、その業者自体に関する情報も含まれることがある。例えば、船会社の場合には、船の入出港スケジュールや空スペースに関する情報が含まれており、本実施例では船舶自体に関する本船マスター情報と、その船舶の入出港スケジュールや空スペースに関する本船動静情報とから構成されている。

30 【0019】依頼情報開示手段7は、荷主ないし業者からの前記依頼情報を業者ないし荷主に開示する手段であり、本実施例では依頼情報記憶手段10から所望の依頼情報を取得して、荷主端末1 Aないし業者端末1 Bから閲覧可能にインターネットホームページ上にて開示される。つまり、荷主からの案件情報は、インターネットホームページ上にて公開されて、業者端末1 Bからの閲覧に供される一方、業者からの業者情報は、インターネットホームページ上にて公開されて、荷主端末1 Aからの閲覧に供される。

40 【0020】応募情報登録手段6は、特定の依頼情報に対して、業者が業務受託ないし荷主が業務委託するために、その依頼情報に対して応募するための手段であり、その応募情報は応募情報記憶手段11に記憶される。特に、業者が見積りを出し、或いは業者に見積りを依頼するための手段である。本実施例では、インターネットホームページを介して応募可能とされている。

【0021】例えば、案件情報に対する応募の場合には、特定案件について業務受託を希望する業者が、その業務受託を希望する業務種別とその見積金額等を含めて回答、応募すればよい。また、業者情報に対する応募の

場合には、特定案件について業務委託を希望する荷主が、特定の業者に対して見積りを依頼すればよい。なお、応募情報記憶手段11は、上記応募情報を記憶する手段であり、本実施例ではデータベースから構成される。

【0022】応募情報開示手段8は、業者端末1Bないし荷主端末1Aから応募情報を受信した場合に、その応募情報に対応する荷主端末1Aないし業者端末1Bに開示する手段である。この実施例では、該当者宛ての電子メールを送信することで応募情報を開示可能としているが、認証を受けた該当者が閲覧可能なインターネットホームページを用いて応募情報を開示するようにしてもよい。

【0023】次に、本実施例の輸出入統合システムの動作について、図2から図22の画面例に基づいて説明する。まず、本システムを利用して輸出入関連業務を依頼しようとする荷主、或いは荷主から輸出入関連業務を請け負おうとする業者は、それぞれ、本システムを利用可能になるために会員登録を行う。

【0024】オンラインにて会員登録しようとする者は、自己の端末を用いて、インターネットで本システムのウェブサイトへ接続する。すると、例えば図2に示すようなログイン画面が端末側に送信されて、その端末のディスプレイに表示される。

【0025】図示のログイン画面は、既登録の会員の認証のために、ユーザIDとパスワードの入力を受け付けるものであるが、未登録の会員は、その画面下部に表示された「新規登録」のボタンをマウスでクリックして選択することで、新規登録が可能とされている。

【0026】「新規登録」のボタンをクリックすると、その選択信号がサーバに送信され、それを受信したサーバは、図3に示すような会員登録画面を端末に送信して、そのディスプレイに表示させる。

【0027】図示の会員登録画面では、会員になろうとする企業の企業名、フリガナ、郵便番号、住所、電話番号、Eメールアドレスの他、業種が選択入力可能とされている。なお、都道府県名と業種については、いわゆるプルダウン形式のリストボックスの中から所定のものを選択可能とされている。

【0028】会員登録画面にてキーボードやマウス等から所定事項を入力ないし指定した後、画面上に表示された「登録」ボタンをマウスでクリックする。すると、入力された事項がサーバに送信され、それを受信したサーバは、それを会員情報として会員情報データベースに登録する。なお、会員登録に先立って、会員登録しようとする者は、本システムの趣旨（荷主や業者のメリット等）や、利用に関する規定（取引参加に関する規定、発注に関する規定、受注に関する規定等）、システムの概要やセキュリティ等についての説明のホームページの閲覧が可能とされており、登録はこれら規約への同意と

みなすことができる。

【0029】会員情報データベースへの会員情報の登録に伴って、ユーザIDとパスワードが設定され、これらの情報が登録画面にて入力されたEメールアドレスに送信されて会員登録が完了する。よって、以後は、会員として、そのユーザIDとパスワードを用いて、本システムのサービスを受けられることになる。

【0030】すなわち、既登録の会員は、自己の端末にて本システムのウェブサイトへ接続した後、図2のログイン画面にて、ユーザIDとパスワードを所定欄に入力した後、「ログイン」ボタンをクリックすればよい。すると、これら情報はサーバに送信されて、それを受信したサーバは、ユーザIDとパスワードに基づいて会員情報データベースのログ情報を検索して、正規の会員か否かの認証を行う。そして、正規の会員の場合には、例えば図4に示すような会員トップページを送信して、端末のディスプレイに表示させる。

【0031】図示の会員トップページでは、荷主からの案件情報と、各業者からの業者情報とに区別されている。なお、業者として、本実施例では、船会社、倉庫会社、陸運会社、乙仲、荷役会社、保険会社に区分けされている。

【0032】そして、案件情報用として、「荷主企業情報」、「案件情報登録」（、「案件情報変更・取消」）、「輸出入案件情報表示」、「輸出入案件情報掲示板」、「輸出入案件情報検索」、「案件見積登録」の選択が可能とされている。

【0033】また、業者情報としては、業種ごとに次のような選択が可能とされている。まず、船会社の場合には、船会社情報として、「本船マスター情報登録」（、「本船マスター情報変更・取消」）、「本船マスター情報表示」、「本船動静情報登録」（、「本船動静情報変更・取消」）、「本船動静情報表示」、「本船動静情報一覧」、「本船動静情報検索」、「本船手配見積依頼」に分けられている。

【0034】また、倉庫会社の場合には、保税倉庫情報として、「倉庫マスター情報登録」、「倉庫マスター情報表示」、「倉庫空情報登録」、「倉庫空情報表示」、「倉庫空情報一覧」、「倉庫空情報検索」、「保税倉庫手配見積依頼」に分けられている。

【0035】また、陸運会社の場合には、陸送情報として、「路線情報登録」、「路線情報表示」、「空車情報登録」、「空車情報表示」、「空車情報一覧」、「空車情報検索」、「陸送手配見積依頼」に分けられている。

【0036】また、乙仲の場合には、乙仲情報として、「乙仲マスター情報登録」、「乙仲情報表示」、「乙仲情報一覧」、「乙仲情報検索」、「通関手配見積依頼」に分けられている。

【0037】また、荷役会社の場合には、荷役情報として、「荷役マスター情報登録」、「荷役情報表示」、

「荷役情報一覧」、「荷役情報検索」、「荷役手配見積依頼」に分けられている。

【0038】さらに、保険会社の場合には、保険情報として、「保険会社マスター登録」、「保険情報表示」、「保険会社情報一覧」、「保険会社情報検索」、「保険手配見積依頼」に分けられている。

【0039】今、荷主が特定案件について案件情報の登録を行おうとする場合には、前述した方法によりユーザーIDとパスワードにて認証を受けた後、上記会員トップページにて「案件情報登録」をクリックして選択すればよい。この選択が行われると、その選択信号を受信したサーバは、図5（及びその続きの図6）に示すような案件情報登録画面を荷主端末に送信して、荷主端末のディスプレイに表示させる。

【0040】図示例の案件情報登録画面では、荷主のコード、名称、所在地、電話番号等からなる荷主基本情報と、輸出ないし輸入の別を表す輸出入区分、船名、その案件のコード、名称、契約諸条件、貨物情報、仕向地情報、国内輸送情報、業務委託範囲等に関する案件情報そのものと、応募受付期間や情報揭示期間、その他のコメントの入力が可能とされている。

【0041】この内、荷主コード、名称、所在地、電話番号については、ログイン時に入力されたユーザーIDに基づいて、会員情報データベースから所望の情報が取得されて、その情報が該当欄に記入された状態で表示されることになる。また、案件コードは、案件ごとに固有の番号が付されることで、他の案件と識別するためのものであり、案件情報登録画面の表示時に自動的に固有のものが付されて表示される。なお、案件コードは書換えが不能であるが、案件名称については、「～の輸出の件」等と適宜に記入すればよい。

【0042】また、貨物情報には、品目、品質・材質、容量、重量、荷姿、個数、備考の欄があり、例えば品目として「化学製品」、品質・材質として「中古の素材」、荷姿として「パッキンケース（段ボール）」等と指定する。

【0043】また、仕向地情報には、仕向地（積出地）、揚港（積港）、積港（揚港）、港、時期の欄があり、例えば輸出の場合の例として、仕向地として「北米（米国）」、揚港として「ロサンジェルス」、積港として「日本」の「横浜」港を指定し、時期としては「2000年6月1日」から「2000年6月30日」と指定すればよい。なお、地区名（国名等）や港名は、リストボックスから所望のものを選択可能とされている。

【0044】また、国内輸送情報には、国内での陸送が行われるか否か、行われるとしてそれはどこからどこまでか、保税倉庫はあるか、いるとしてどこに必要なか、VANNNINGや通関の有無について指定がなされる。図示例では、陸送、保税倉庫、VANNNINGや通関の項目にチェック欄があるので、該当する項目について

マウスでチェックを付け、必要ならば詳細な情報を入力すればよい。例えば、北海道から横浜までの輸送後、横浜にて保税倉庫が必要ならば、陸送の欄にチェックを付けて「北海道」～「横浜」と指定すると共に、保税倉庫の欄にチェックを付けて「横浜」を指定すればよい。なお、例えばコンテナに荷物を出し入れするのが必要ならば、VANNNINGにチェックをつければよいし、通関手続が必要ならば通関の欄にチェックをつければよい。

【0045】業務委託範囲は、通関手続、保税倉庫、陸上輸送、海上輸送、荷役、保険の各項目についてチェック欄があるので、業務委託しようとする業務の項目について、マウスでチェックを付ければよい。

【0046】そして、応募受付期間は、期間の始期と終期の指定によりなされる。例えば、応募受付期間として、「2000年3月1日」～「2000年3月31日」と入力して指定すればよい。また、情報揭示期間についても同様にして期間指定を行えばよい。

【0047】以上のようにして、荷主端末にて所定の案件情報を入力ないし指定した後、荷主は、案件情報登録画面中表示された「登録」ボタンをクリックすればよい。登録ボタンをクリックされると、案件情報がサーバに送信され、それを受信したサーバは、案件情報を依頼情報データベースに登録すると共に、荷主端末には案件情報を受付した旨の表示画面を送信する。

【0048】ところで、案件情報の登録後、案件情報に変更があったり、案件情報の登録を取り消したい場合には、案件情報の変更と取消が可能とされている。例えば、案件情報公開後に、ある業者との間で契約締結等に至った場合には、案件情報の取消の指示が可能とされている。

【0049】案件情報の変更や取消は、ログイン画面で認証を受けた後、所定のメニュー画面にて「案件情報変更・取消」をクリックして選択すればよい。すると、サーバは、図7（及びその続きの図8）に示すような案件情報変更・取消画面を荷主端末に送信して、荷主端末のディスプレイに表示させる。

【0050】この案件情報変更・取消画面では、まず登録済の案件を指定する。例えば、ログイン時のユーザーIDに基づいて、依頼情報データベースからそのユーザーによる案件情報の案件コードと案件名の一覧がリストボックス内に表示されるので、荷主はそのボックス内から所望の案件を選択すればよい。

【0051】また、その案件コードとユーザーIDに基づいて、会員情報データベースからその荷主に関する荷主基本情報が取得されると共に、依頼情報データベースからその案件に関する荷主案件情報が取得されて、案件情報登録画面と同様の画面が、所定欄を埋めた状態で表示される。よって、荷主は、その案件情報を変更する場合には、それに加筆修正すればよいし、その案件情報の登

録を取り消したい場合には、処理区分として「取消」の欄にチェックを付ければよい。いずれの場合にも、最後に「登録」ボタンをクリックすることで、その変更や取消の情報がサーバに送信されるので、サーバはその情報に基づいて該当案件の案件情報の変更や登録取消を行うことになる。また、サーバは、その案件情報の変更や取消の登録を受け付けた旨を示す画面を荷主端末に送信して、そのディスプレイに表示させる。

【0052】一方、船会社等の業者は、自己の端末にて本システムのウェブサイトへ接続することで、荷主が登録した前記案件情報をホームページ上で閲覧することができ、所望の案件については見積をしたりして応募することができる。

【0053】この場合、業者は、ログイン画面にてユーザIDとパスワードを入力して認証を受けたことを前提に、所定のメニュー画面にて「輸出入案件情報掲示板」をクリックする。このクリックにより、図9に示すような案件情報の一覧画面が業者端末に送信されて、業者端末のディスプレイに表示される。この輸出入案件情報掲示板では、案件コード、出港予定日（入港予定日）、仕向地（積出地）、荷倉庫地域、品目、荷姿、個数、重量・容積、募集期限、荷主コメントが案件ごとに行を変えて表示される。なお、これら情報は、依頼情報データベースに登録された案件情報から所望の部分が取得されて表示されることになる。

【0054】ところで、この輸出入案件情報掲示板画面では、簡単な検索が可能とされており、その検索条件に合致した案件の一覧表示が可能とされている。ここでは、輸出ないし輸入の別を指定する輸出入区分と、通関手続、保税倉庫、陸上輸送、海上輸送、荷役ないし保険の委託業務種別の内のいずれか一以上の指定を行うことで、案件情報の絞り込みが可能とされている。なお、この指定は、マウスにて該当項目のチェックを付けることで行われる。所定条件を指定して、「検索開始」ボタンをクリックすると、依頼情報データベース中から条件に合致した案件が特定され、その件数が業者端末に送信されて所定欄に表示されると共に、その内の先頭から所定数の案件については一覧表示がなされる。そして、画面中の「次の案件を検索」をクリックすれば、次の案件についての一覧を見ることが可能となる。

【0055】また、画面中の「検索条件設定」ボタンをクリックしたり、所定のメニュー画面にて「輸出入案件情報検索」をクリックすることで、案件情報のより詳細な検索が可能とされている。例えば、図10のような案件情報検索条件設定画面を業者端末に送信して検索条件の入力が可能とされている。図示例では、案件情報中の業務委託範囲、輸出入区分、仕向地情報、国内輸送情報、応募受付期間により絞り込みが可能とされている。所定事項を選択ないし入力した後、「検索開始」ボタンをクリックすると、その条件に合致した案件が依頼情報

データベースから抽出されて一覧表示されることになる。

【0056】そして、一覧表示を見た業者は、その案件の詳細を閲覧したい場合には、当該案件に対応した「詳細」ボタンをクリックすればよい。詳細ボタンがクリックされると、その案件コードに基づいて依頼情報データベースが検索されて、当該案件の案件情報が取得されて、業者情報に送信されてディスプレイ表示される。

【0057】本実施例の場合、図11（及びその続きの図12）に示すような案件情報詳細表示画面を業者端末に送信して、業者端末のディスプレイに表示させる。図示例の場合、荷主が案件情報の登録を行った案件情報登録画面と同様の画面にて、その所定欄が埋められた状態で表示されることになる。つまり、案件コードに基づいて依頼情報データベースから取得されたデータが記入された状態で表示される。また、その案件に対して応募がなされている場合には、その応募状況として何社の応募がなされているかの表示もなされる。これには、応募情報データベースを検索して、該当案件コードの応募情報の数を算出して、それを表示すればよい。

【0058】以上のようにして、各案件の内容を検討した後、特定の案件について業務受託を希望する業者は、その受託希望業務と見積金額を指定して、荷主にアプローチをかけることができる。これには、案件情報詳細表示画面や所定のメニュー画面から「見積登録」をクリックすればよい。これにより、図13に示すような案件見積登録画面が業者端末に送信されて、そのディスプレイに表示される。

【0059】この案件見積登録画面では、案件コード・名称、荷主コード・名称の他、受託希望業務、見積金額、応募条件、応募者の入力が行なわれる。ここで、案件詳細情報表示画面から案件見積登録画面に移行した場合には、その詳細表示されていた案件コードや荷主コードが自動的に記入されて表示されることになる。また、受託希望業務については、通関手続、保税倉庫、陸上輸送、海上輸送、荷役、保険の項目が表示されるので、該当欄にマウスでチェックを入れればよい。また、見積金額については、金額を入力すると共に、通貨単位と税区分を指定する。また、応募条件としては、支払条件、納期、見積有効期限、その他のコメントが入力可能とされている。なお、支払条件とは、月末締めや現金払い等の情報であり、納期とは作業完了の納期である。そして、この案件見積登録画面では、さらに業者コードや名称、担当者名、応募日時（これは自動的にセットされる）が指定されて、画面中の「登録」ボタンをクリックすることで、応募がなされる。

【0060】「登録」ボタンがクリックされると、その案件見積登録画面にて入力ないし指定された情報がサーバに送信され、その情報を受信したサーバは、その応募情報を応募情報データベースに登録する。これに伴い、

サーバは、応募情報の登録を受け付けた旨の表示画面を業者端末に送信して表示させる。また、サーバは、応募された案件の荷主宛てに、Eメールにて応募情報を個別通知する。なお、このEメール送信は、応募情報中の荷主コードに基づいて会員情報データベースを検索して、該当の荷主のEメールアドレスを取得し、それに基づいてメール送信を実行することになる。そして、以後は、原則として、当事者間にてEメール等で内容を結めることになる。

【0061】以上では、荷主の側から情報発信して、それに業者側が回答する場合について説明したが、本システムは業者の側から荷主企業に情報発信するのにも対応することができる。

【0062】例えば、船会社は、まず自己の船舶自体の本船マスター情報と、その船舶の動静情報を登録する。これら情報の登録は、まず業者が自己の端末を用いて、本システムのウェブサイトへ接続し、所定のログイン画面にてユーザIDとパスワードを入力して認証を受けた後に行うことができる。

【0063】認証後、業者はまず本船マスター情報の登録を行う。これには、所定のメニュー画面にて、「本船マスター情報登録」の項目をクリックすればよい。この選択が行われると、サーバは図14に示すような本船マスター情報登録画面を業者端末に送信して、業者端末のディスプレイに表示させる。よって、業者（ここでは船会社）は、自己の端末から本船の船舶自体に関する本船マスター情報を入力ないし指定していけばよい。

【0064】図示の本船マスター情報登録画面では、会員コード・名称、本船コード・船名、船舶情報、国籍、船籍港、コールサイン、船舶TEL、テレックスナンバー、船会社コード（オペレーター）、所有者（オーナー）、総トン数、積載可能荷物の正味のトン数が登録可能とされている。ここで、会員コードや会員名は、ログイン時のユーザIDに基づいて自動的に付されることになる。また、本船コードは、本船ごとに固有のものが付されるのであり、本画面中に所定のものが付された状態で表示される。また、船舶情報には、LOA、D.W.T.、船幅、コンテナ区分、エンジン、シャフト、ブリッジ位置、カーゴギアの入力ないし指定が可能とされている。

【0065】このようにして本船マスター情報を入力ないし指定した後、画面中の「登録」ボタンをクリックすると、入力された本船マスター情報はサーバに送信され、それを受信したサーバは、その本船マスター情報を依頼情報データベースに登録する。また、業者端末には、登録を受け付けた旨の表示がなされる。

【0066】ところで、本船マスター情報も案件情報の場合と同様に、本船マスター情報の登録後、その情報に変更があったり、その登録を取り消したい場合には、その情報の変更と登録取消が可能とされている。

【0067】本船マスター情報の変更や取消は、ログイ

ン画面で認証を受けた後、所定のメニュー画面にて「本船マスター情報変更・取消」をクリックして選択すればよい。すると、サーバは、図15に示すような本船マスター情報変更・取消画面を荷主端末に送信して、荷主端末のディスプレイに表示させる。

【0068】この本船マスター情報変更・取消画面では、まず登録済の本船を指定する。例えば、ログイン時のユーザIDに基づいて、依頼情報データベースからそのユーザによる本船マスター情報の本船コードと船名の一覧がリストボックス内に表示されるので、荷主（船会社）はそのボックス内から所望の本船を指定すればよい。

【0069】本船が指定されると、その本船コードに基づいて、依頼情報データベースからその本船に関する本船マスター情報が取得されて、本船マスター情報登録画面と同様の画面が、所定欄を埋めた状態で表示される。よって、その本船マスター情報を変更する場合には、それに加筆修正すればよい。また、本船マスター情報の登録を取り消したい場合には、処理区分の「取消」の欄にチェックを付ければよい。いずれの場合にも、最後に「登録」ボタンをクリックすることで、その変更や取消の情報がサーバに送信されるので、サーバはその情報に基づいて、依頼情報データベースの該当レコードに対して本船マスター情報の変更や取消処理を行う。また、サーバは、その本船マスター情報の変更や取消の登録を受け付けた旨を示す画面を荷主端末に送信して、そのディスプレイに表示させる。

【0070】以上のようにして登録された本船マスター情報について、会員はその情報をホームページ上にて閲覧可能とされている。本船マスター情報を閲覧したい荷主等の会員は、所定のログイン画面にてユーザIDとパスワードを入力して認証を受けた後、所定のメニュー画面にて「本船マスター情報表示」をクリックすればよい。すると、図16のような本船マスター情報表示画面が端末に送信されてそのディスプレイに表示される。この本船マスター情報表示画面は、前記本船マスター情報登録画面と同様の画面とされている。この画面にて、本船マスター情報を閲覧したい者は、本船コードや船名を指定すればよい。この指定を受けると、依頼情報データベース中の本船マスター情報の内、指定された本船に関する本船マスター情報が取得されて、その情報を加入した状態で画面表示がなされることになる。なお、後述する本船動静情報詳細表示画面から移行した場合には、動静情報閲覧中のその本船のマスター情報が自動的に表示されることになる。

【0071】本船マスター情報を登録した船会社は、その本船についての動静情報について登録を行う。この場合も、船会社は認証を受けた後、所定のメニュー画面にて、「本船動静情報登録」をクリックすればよい。この選択が行われると、サーバは図17に示すような本船動

静情報登録画面を業者端末に送信して、業者端末のディスプレイに表示させる。よって、船会社は、自己の端末から本船のスケジュールや空きスペース等に関する本船動静情報を入力ないし指定して登録することができる。

【0072】図示の本船動静情報登録画面では、本船動静コード、会員コード、本船コード、配船ナンバー、VOYナンバー、空きスペース、前港、国内ローテーション、次港、ドック予定日付の登録が可能とされている。この内、本船動静コードは、本船動静情報ごとに固有のものとなされ、本画面の表示に伴って自動的に付された状態で表示される。また、会員コードは、ログイン時のものが自動的に付される。また、本船コードは、本船マスター情報登録の際に割り当てられたものを入力する。本船コードが入力されると、その本船コードに基づいて依頼情報データベースの本船マスター情報が検索されて、該当する本船のマスター情報中から船名が取得されて所定欄に表示されることになる。なお、国内ローテーションは、国内に停泊予定の港名をリストボックスから指定すると共に、その停泊期間を指定して指示する。

【0073】本船動静情報を入力した後、画面中の「登録」ボタンをクリックすると、その本船動静情報がサーバに送信され、それを受信したサーバは、本船動静情報を本船動静コードごとに依頼情報データベースに登録する。なお、この登録の受付が行われると、サーバは業者端末にその旨を表示した画面を送信してそのディスプレイに表示させる。

【0074】この本船動静情報についても、その登録後に、情報の変更や取消が可能とされている。本船動静情報の変更や取消は、ログイン画面で認証を受けた後、所定のメニュー画面にて「本船動静情報変更・取消」をクリックして選択すればよい。すると、サーバは、図18に示すような本船動静情報変更・取消画面を荷主端末に送信して、荷主端末のディスプレイに表示させる。

【0075】この本船動静情報変更・取消画面では、まず登録済の本船を指定する。例えば、ログイン時のユーザIDに基づいて、依頼情報データベースからそのユーザによる本船マスター情報の本船コードの一覧がプルダウン形式のリストボックス内に表示されるので、船会社はそのボックス内から所望の本船を指定すればよい。この本船コードに指定に伴って、その本船コードに対応する本船名が表示される。

【0076】本船が指定されると、その本船コードに基づいて、依頼情報データベースからその本船に関する本船動静コードが取得されて、リストボックス内に表示されるので、所望の本船動静情報コードを指定すればよい。

【0077】本船動静コードが指定されると、その本船動静コードに基づいて依頼情報データベースが検索されて、該当する本船動静情報が取得されて、本船動静情報登録画面と同様の画面が、所定欄を埋めた状態で表示さ

れる。よって、本船動静情報を変更する場合には、処理区分として「変更」にチェックを付けて、所望欄に加筆修正すればよい。また、本船動静情報の登録を取り消したい場合には、処理区分として「取消」にチェックを付ければよい。いずれの場合にも、最後に「登録」ボタンをクリックすることで、その変更や取消の情報がサーバに送信されるので、サーバはその情報に基づいて、依頼情報データベースの該当レコードに対して本船動静情報の変更や取消処理を行う。なお、サーバは、その本船動静情報の変更や取消の登録を受け付けた場合には、その旨を示す画面を荷主端末に送信して、そのディスプレイに表示させる。

【0078】一方、荷主が本船のスケジュールや空きスペースを知りたい場合には、所定のログイン画面にて認証を受けた後、所定のメニュー画面にて「本船動静情報一覧」をクリックして指定すればよい。この選択信号を受けたサーバは、図19に示すような本船動静情報の一覧画面を荷主端末に送信して、荷主端末のディスプレイに表示させる。この本船動静入出港予定情報一覧画面

(掲示板)では、本船動静コード、船会社、船名、配船ナンバー、VOYナンバー、仕向地、積港・揚港、ETA(到着日時)、ETD(出発日時)、空スペースが本船動静情報ごとに行を変えて表示されることになる。なお、これら情報は、依頼情報データベースに登録された本船動静情報から所望の部分が取得されて表示されることになる。

【0079】ところで、本船動静情報を所定の絞り込み条件にて絞り込んだ後、所定要件に合致したものだけを所定件数ずつ表示させることができる。この絞り込みは、前記一覧画面中にて「検索条件設定」ボタンをクリックしたり、所定のメニュー画面にて「本船動静情報検索」をクリックすればよい。この選択が行われると、サーバは、例えば図20のような本船動静情報検索画面を荷主端末に送信して、検索条件の入力を受け付ける。図示例では、本船マスター情報や本船動静情報中の仕向地、積港(揚げ港)、船形態、船会社コード(オペレーター)にて検索が可能とされている。なお、仕向地や港名、船形態は、リストボックス中から該当のものを指定する形式とされている。

【0080】本船動静情報検索画面にて、所定の条件を指定した後、「検索開始」ボタンをクリックする。すると、その検索条件を受信したサーバは、依頼情報データベース内の本船動静情報を検索して、その条件に合致した本船動静情報を特定して、一覧表示させる。

【0081】そして、一覧表示を見た荷主は、その本船動静情報の詳細を閲覧したい場合には、それに対応した「詳細」ボタンをクリックすればよい。詳細ボタンがクリックされると、その本船動静コードに基づいて依頼情報データベースが検索されて、当該本船動静コードの本船動静情報が取得されて、荷主端末に送信されてそのデ

ディスプレイに表示される。

【0082】本実施例の場合、図21に示すような本船動静情報詳細表示画面を荷主端末に送信して、荷主端末のディスプレイに表示させる。図示例の場合、船会社が本船動静情報の登録を行った本船動静情報登録画面と同様の画面にて、その所定欄が埋められた状態で表示される。つまり、本船動静コードに基づいて依頼情報データベースから取得されたデータが記入された状態で表示される。

【0083】ところで、本船動静情報詳細表示画面中の「本船マスター情報表示」のボタンをクリックすることで、その本船のマスター情報の閲覧が可能となる。すなわち、「本船マスター情報表示」がクリックされると、本船コードに基づいて依頼情報データベースの本船マスター情報が検索され、該当する本船のマスター情報を取得して、その情報を加入した状態で、図16に示すような本船マスター情報表示画面に移行することになる。

【0084】以上のようにして、各本船やその動静情報の内容を検討した後、特定の本船について業務委託を希望する荷主は、委託する場合の費用の見積を船会社に依頼する。例えば、本船動静情報詳細表示画面や所定のメニュー画面から「(本船手配)見積依頼」のボタンをクリックすればよい。これにより、図22に示すような本船手配見積依頼画面が荷主端末に送信されて、そのディスプレイに表示される。

【0085】この本船手配見積依頼画面では、本船動静コード、見積依頼案件コード・名称、依頼者コード、見積期限、依頼者のコメントが入力される。なお、本船動静情報詳細表示画面から本船手配見積依頼画面に移行した場合には、その詳細表示されていた本船動静コードが自動的に記入されて表示されることになる。また、依頼者コードは、ログイン時のユーザーIDに基づいて記入された状態で表示される。なお、見積依頼案件コード・名称は、見積依頼ごとに固有のものが付された状態で表示されることになる。そして、画面中の「見積依頼」ボタンをクリックすることで、本船手配の応募がなされる。

【0086】「見積依頼」ボタンがクリックされると、その本船手配見積依頼画面にて入力ないし指定された情報がサーバに送信され、その情報を受信したサーバは、その応募情報を応募情報データベースに登録する。これに伴い、サーバは、応募情報の登録を受け付けた旨の表示画面を荷主端末に送信して表示させる。また、サーバは、応募された本船の船会社宛てに、Eメールにて本船手配の応募と見積依頼があった旨を知らせる。なお、このEメール送信は、本船コードに基づいて会員情報データベースを検索して、該当の業者(船会社)のEメールアドレスを取得し、それに基づいてメール送信することで行われる。そして、以後は、原則として、当事者間にてEメール等で内容を詰めることになる。

【0087】ところで、この実施例の輸出入統合システムでは、会員専用の掲示板を用いて情報交換を行うことも可能とされている。この場合は、所定のログイン画面にて認証を受けた後、所定のメニュー画面を介して会員企業のホームページへのリンク集を作成すればよい。例えば、会員企業名の一覧を作成して、その企業名をクリックすることで、その会社のホームページへリンクさせるのである。

【0088】次に、以上の輸出入統合システムにて、輸出業務を行う場合の一例について説明する。輸出会社(荷主)と船会社との商談を例にとると、輸出会社(甲)はまず輸出契約に基づき、納期に見合った船便にスペースを確保するために、ウェブ上の掲示板に案件情報を掲示する。例えば、「輸出荷主会社(甲)は、××年××月××日頃、〇〇国〇〇港へ、物品〇〇を××トン輸出します、見積に参加される船会社各位は弊社専用掲示板へご一報下さい」と公開する。

【0089】これに対し、複数の船会社が本システムを介して甲社の掲示板にアクセスして、その情報を閲覧する。そして、応募可能ならば、船名、配船スケジュール等を甲社の掲示板に入力して、見積応募の意思表示をする。

【0090】これに対して、甲社は、意思表示した船会社に対しウェブ上で見積要求を出す。そして、応募船会社は、甲社の掲示板或いは甲社宛てのEメールにて、見積額を回答するのである。そして、甲社は、最も好条件と思われる船会社を選定して契約の商談を行うのである。なお、必要あるときは、特定の船会社だけに見積依頼をすることができる。この場合には、前記会員企業一覧画面から、その船会社をクリックして商談を進めればよい。

【0091】一方、輸入の場合も同様である。例えば、輸入会社(甲)の輸入商品がまもなく日本の荷降港に到着するとした場合について説明する。この場合、荷主会社(甲)は輸入商品が積載されている本船の入港日時、港名等を船会社に確認し、積荷到着後の業務を手配するために、ウェブ上の掲示板に、例えば「輸入荷主会社(甲)の輸入貨物××トンが××年××月××日頃、〇〇港へ到着いたします、通関後、輸入商品は〇〇株式会社△△工場まで配送いたします、見積に参加される海運貨物取扱業者、荷役会社、倉庫会社、運輸会社各位は弊社専用掲示板へご一報下さい」と掲載すればよい。

【0092】すると、本システムを介して甲社の掲示板にアクセスして情報を見た各専門業者は、応募可能ならばスケジュール等の条件を甲社の掲示板や、甲社へのEメールにて入力して、見積応募の意思表示を行う。

【0093】これに対して、甲社は、意思表示した専門業者に対し、ウェブ上で見積要求を出し、応募専門業者は甲社の掲示板等でそれぞれ、見積額を回答する。そして、甲社は、最も好条件と思われる専門業者を選定して

契約の商談を行うことができる。なお、この場合も、必要あるときは、甲社は、特定の専門業者だけに見積依頼することができる。

【0094】なお、以上の実施例においては、主として荷主と船会社とのやり取りの場合について説明したが、船会社以外の業者についても、基本的には船会社の場合と同様である。但し、やり取りする情報については、以下のように異なる。

【0095】つまり、倉庫会社の場合には、前記業者情報は、倉庫マスター情報（前記本船マスター情報に対応）と倉庫空情報（前記本船動静情報に対応）とに分けられる。そして、倉庫マスター情報には、各倉庫の場所や設備、容量等の倉庫自体に関する情報が含まれ、倉庫空情報には、各倉庫の所定期間の空きスペース等の使用状況に関する情報が含まれる。

【0096】また、陸運会社の場合には、前記業者情報は、路線情報（前記本船マスター情報に対応）と空車情報（前記本船動静情報に対応）とに分けられる。そして、路線情報には、会社や車両の設備、容量、運行路線等の車両等自体に関する情報が含まれ、空車情報には、各車両の運行スケジュールや所定期間の空きスペースに関する情報が含まれる。

【0097】また、通関業者の場合には、前記業者情報には、その通関業者自体に関する乙仲（マスター）情報が含まれる。また、荷役会社の場合には、前記業者情報には、その荷役会社自体に関する荷役（マスター）情報が含まれる。さらに、損保会社の場合には、前記業者情報には、その保険内容等やその保険会社自体に関する保険（マスター）情報が含まれる。

【0098】上記実施例のインターネット輸出入統合システムによれば、荷主企業が低コストで効率のよい輸出入関連企業を自由に、手早く、容易に選択することができる。また、輸出入関連企業の側から荷主企業に対し、低コストの役務を積極的に提案できるオープンな入札環境を提供することができる。さらに、輸出入関連企業相互で情報交換と実取引が可能となる。例えば、通関手続会社（乙仲）が荷主企業を代行して、貿易業務を行う場合、通関手続会社は荷主企業として本システムを利用するようにすることもできる。

【0099】なお、本発明の輸出入統合システムは、上記実施例の構成に限らず、適宜変更可能である。例えば、上記実施例においては、サーバに各手段を備えた例を示したが、会員認証、情報登録、情報開示、個別通知等のためのアプリケーションサーバと、会員情報や依頼情報や応募情報等を記憶するための情報記憶手段としてのデータベースサーバとに分けることができるのは勿論である。また、サーバと荷主端末ないし業者端末との電子メールのやり取りは、ネットワーク上のメールサーバを介して行うことができるのも言うまでもない。

【0100】さらに、上記実施例において、依頼情報デ

ータベースは、案件情報用と業者情報用とに分けたり、業者情報については更に業種ごとに分けたり、またマスター情報等の固定情報用と、動静情報等の変動情報用とに分けることができるのも言うまでもない。応募情報データベースについても同様である。

【0101】また、上記実施例では、船会社、倉庫会社、陸運会社、通関業者、荷役会社又は損保会社等について述べたが、業者はこの種別に限らず、空輸会社等の他の業種を含めてもよい。なお、依頼情報等の開示時には、適宜、会社名等を伏して匿名で情報公開できる。

【0102】

【発明の効果】以上詳述したように、本発明の輸出入統合システムによれば、荷主企業が輸出入業務の遂行を簡易且つ安価に実行することができ、輸出入関連企業の側からも低コストのサービスを積極的にアピールすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の輸出入統合システムの一実施例のシステム構成図である。

20 【図2】図1の輸出入統合システムを利用するためのログイン画面の一例を示す図である。

【図3】図1の輸出入統合システムを利用するための会員登録申込画面の一例を示す図である。

【図4】図1の輸出入統合システムへのログイン後のトップページのメニュー画面の一例を示す図である。

【図5】図1の輸出入統合システムでの案件情報登録画面の一例を示す図である。

【図6】図5の案件情報登録画面をスクロールさせて、その続きを示す図である。

30 【図7】図1の輸出入統合システムでの案件情報変更・取消画面の一例を示す図である。

【図8】図7の案件情報変更・取消画面をスクロールさせて、その続きを示す図である。

【図9】図1の輸出入統合システムでの輸出入案件情報掲示板画面の一例を示す図である。

【図10】図1の輸出入統合システムでの案件情報検索条件設定画面の一例を示す図である。

【図11】図1の輸出入統合システムでの案件情報詳細表示画面の一例を示す図である。

40 【図12】図11の案件情報詳細表示画面をスクロールさせて、その続きを示す図である。

【図13】図1の輸出入統合システムでの案件見積登録画面の一例を示す図である。

【図14】図1の輸出入統合システムでの本船マスター情報登録画面の一例を示す図である。

【図15】図1の輸出入統合システムでの本船マスター情報変更・取消画面の一例を示す図である。

【図16】図1の輸出入統合システムでの本船マスター情報表示画面の一例を示す図である。

50 【図17】図1の輸出入統合システムでの本船動静情報

登録画面の一例を示す図である。

【図18】図1の輸出入統合システムでの本船動静情報変更・取消画面の一例を示す図である。

【図19】図1の輸出入統合システムでの本船動静情報一覧（本船動静入出港予定情報一覧）画面の一例を示す図である。

【図20】図1の輸出入統合システムでの本船動静情報検索画面の一例を示す図である。

【図21】図1の輸出入統合システムでの本船動静情報詳細表示画面の一例を示す図である。

【図22】図1の輸出入統合システムでの本船手配見積依頼画面の一例を示す図である。

【符号の説明】

* 1 端末

1 A 荷主端末

1 B 業者端末

2 ネットワーク（インターネット）

3 サーバ

4 認証手段

5 依頼情報登録手段

6 応募情報登録手段

7 依頼情報開示手段

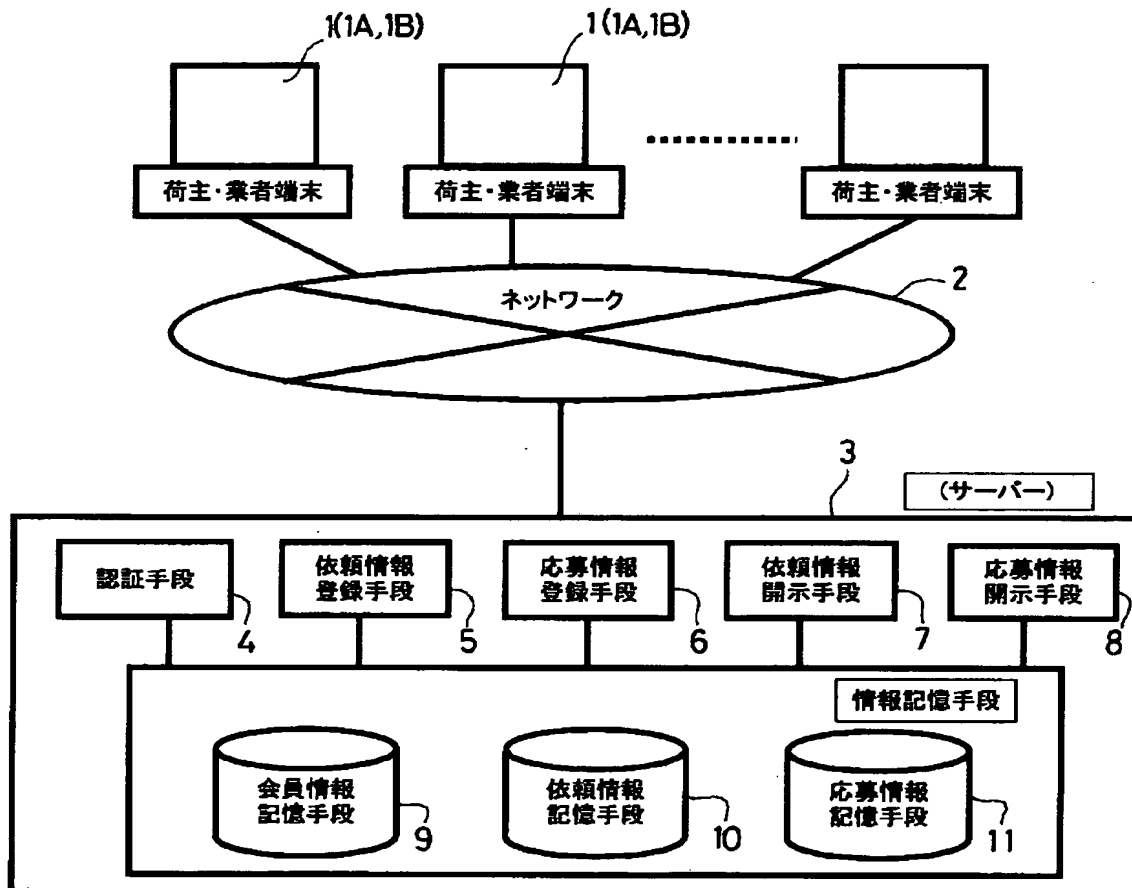
10 8 応募情報開示手段

9 会員情報記憶手段（会員情報データベース）

10 依頼情報記憶手段（依頼情報データベース）

* 11 応募情報記憶手段（応募情報データベース）

【図1】



【図2】

◆パスワード入力ログイン

インターネット貿易総合システム

Log in / 会員のページへ移動します

お客様のIDとパスワードを入力してログインをクリックしてください。

本サイトのサービスをご利用いただくには、クッキーによる認証が必要です。
クッキーを受け付ける設定にしてください。
なお本サイトで実行されるクッキーはブラウザを切った時に消滅されます。

ログイン

パスワードを忘れた

・取引サイトへ入る為のユーザーIDとパスワード認証処理

TOPメニュー(HOME PAGE)より会員のページを選択するとユーザーID(会員コード)とパスワードの入力画面が表示され、ここで正しくユーザーID(会員コード)とパスワードを入力しないと取引画面には入れない。

【図3】

◆会員登録

インターネット総合システム

会員登録お申し込み

登録の前に

- お申込みの前に必ず会員登録を完了してください。
- これらの規約をご承諾の上で以下のフォームからお申込みください。

企業情報

- アカウント利用者の企業情報を設定します。ここで入力された情報は一般公開されません。
- 登録内容に虚偽の部分が判明した場合や不備があった場合、登録を抹消させていただきます。

企業名			
フリガナ	半角カナ使用禁止		
郵便番号	半角数字で入力して下さい。		
ご住所	〒	市区部	
	町村字・番地		
	ビル名/階		
市外局番	お住まいの地域の市外局番を入力して下さい。		
電話番号	市外局番以降の電話番号を入力して下さい。		
E-mail	該定情報をお知らせします。お間違いないようご確認下さい。		
業種			

データの登録

- 送信後、該定情報を使用したメールをご登録用E-mailアドレスにお送りいたします。
- 該定用E-mailアドレスの記入のない方の場合、メールは送信されません。
- パスワードは再入力しませんので、忘れないようご注意ください。
- もう一度、登録内容に間違いがないようご確認ください。

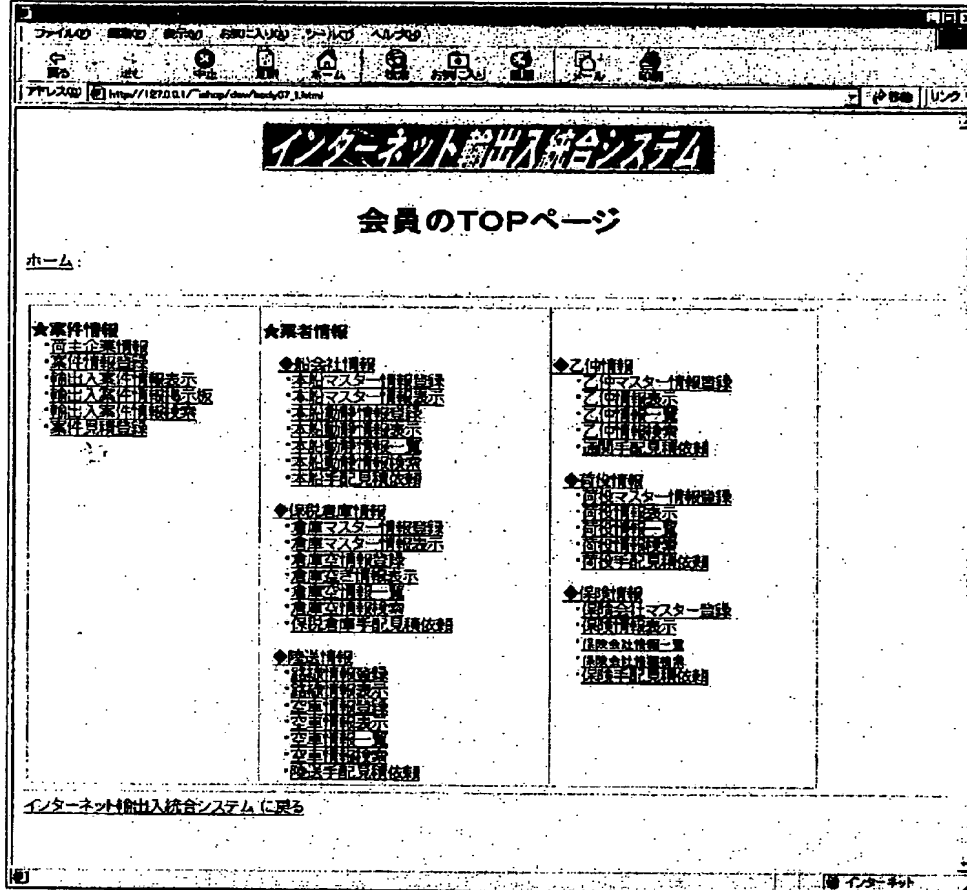
申し込まれた時点で会員登録が完了していただいたものと扱います。

戻る キャンセル

・参加希望者の登録処理

【図4】

◆会員トップページ



- ・サイト内の処理表示及び処理選択
このページからシステム内の全てのページへ移動する事ができる。

【図5】

◆案件情報登録(1/2)

ホーム: 会員のTOPページに戻る 荷主企業情報に戻る

1. 荷主基本情報

荷主コード・名称

所在地・電話番号

2. 荷主案件情報登録

輸出入区分 ☐ 輸出 ☐ 輸入 船名

案件コード・名称

契約条件

品目	品質・材質	M3	重量kg	荷姿	個数
北平製菓				パッキングケース	
ロサンゼルス					

仕向地情報

仕向地(積出地) 北米/U.S.A 積出港 横濱/Yokohama

仕向地(積出地) 日本/Japan 積出港 横濱/Yokohama

時期 2000/02/01 ~ 2000/02/31

仕向地(積出地) 北海道 積出港 横濱/Yokohama

・案件情報登録処理画面

荷主が案件を登録する為の画面でログイン時のユーザーID(会員コード)より、荷主コード・名称及び、所在地・電話番号が自動表示される。

登録時は、案件コードは自動採番される。

案件コードは、この案件を特定する為の識別情報であり一度採番されると変更することはできない。

【図6】

◆案件情報登録(2/2)

2. 荷主案件情報登録						
輸出入区分	<input type="radio"/> 輸出 <input type="radio"/> 輸入		船名			
案件コード・名称						
契約条件						
<貨物情報>	品目	品質・材質	M3	重量kg	荷姿	価額
	北米製品				パッキングケース	
	備考					
<仕向地情報>	仕向地 (領出地)	北米/U.S.A	港 (積港)	ロサンゼルス/LOS		
	積港 (積港)	日本/Japan	港	横浜/Yokohama		
	時期	2000/04/01	～	2000/04/31		
<国内輸送情報>	<input type="radio"/> 陸送	北海道			横浜/Yokohama	
	<input type="radio"/> 保税倉庫	横浜/Yokohama				
	<input type="radio"/> VANNING					
	<input type="radio"/> 通関					
<業務委託範囲>	<input type="checkbox"/> 通関手続... <input type="checkbox"/> 保税倉庫... <input type="checkbox"/> 陸上輸送... <input type="checkbox"/> 海上輸送 <input type="checkbox"/> 荷役... <input type="checkbox"/> 保険					
	通関受付開始	2000/03/01	から	2000/03/31	まで(必須入力)	
	登録表示期間	2000/03/01	から	2000/03/31	まで(※登録の場合表示欄に表示されません)	
	その他コメント					
<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="キャンセル"/>						

会員のTOPページに戻る

ページが表示されません

◆案件情報登録処理画面

登録した案件を掲示板に登録し入札の対象とする場合は、情報開示期間を指定する。
 この指定が無い場合は、掲示板には表示されない。
 * 但し、業者に見積もり依頼を行う場合には、登録内容がメールで業者に送付される。

【図7】

◆案件情報変更・取消(1/2)

インターネット輸出入システム

案件情報変更・取消画面

ホーム: 会員のTOPページに戻る 荷主企業情報に戻る

処理区分: ☒ 変更 ☐ 取消

案件コード・名称: ABC-01-002 | ロサンゼルスABC社へのNC貨物輸出

1. 荷主基本情報

荷主コード・名称: []

所在地・電話番号: []

2. 荷主案件情報登録

輸出入区分: ☒ 輸出 ☐ 輸入

船名: []

案件コード・名称: []

契約条件: []

品目	品質・材質	M3	重量kg	荷姿	価格
＜貨物情報＞	化学製品			パッキングケース	
備考	[]				
仕向地 (輸出先)	北米/ U. S. A	船名	ロサンゼルス/ RGS		

ページが正常に読み込まれました

・案件情報変更・取消処理画面

登録した案件情報を変更又は、取り消す。

処理区分と案件コードを選択すると登録内容が表示される。

この処理は、最初に登録した会員コードでログインした会員のみが行える。

* 但し、混乱を避けるため応募期間等の主要項目は、変更できない。
この場合一旦取消処理を行い、新たに登録する必要がある。

削除された案件情報は、掲示板によりその旨が表示される。

【図8】

◆案件情報変更・取消(2/2)

輸出入区分		A:輸出 C:輸入		船名	
案件コード・名称					
契約書案件					
<貨物情報>		品目	品質・材質	M3	重量kg
		品名			
<仕向地情報>		仕向地(輸出地)	北米/US.A	港	ロサンゼルス/LOS
		積港(揚子)	日本/Japan	港	横浜/Yokohama
		時期	2000/02/01	~	2000/02/01
<国内輸送情報>		P:陸送	北海道	~	横浜/Yokohama
		P:保税倉庫	横浜/Yokohama		
		P:VANING			
		P:通関			
<業務委託範囲>		<input type="checkbox"/> 通関手続... <input type="checkbox"/> 保税倉庫... <input type="checkbox"/> 陸上輸送... <input type="checkbox"/> 海上輸送 <input type="checkbox"/> 荷役... <input type="checkbox"/> 保険			
		当事業付期間 2000/02/01 から 2000/02/31 まで(必須入力) 登録期間 2000/02/01 から 2000/02/31 まで(登録の場合表示欄に表示されません)			
その他コメント					
登録		キャンセル			

会員のTOPページに戻る

【図9】

◆輸出入案件情報揭示板

[illegible]

- ・登録された案件の一覧表示画面。各種検索条件により選択案件の表示を行う検索条件設定ボタンを押すと検索条件設定画面が表示される。詳細ボタンを押すとその案件の詳細情報が表示される。

【図10】

◆案件情報検索条件設定

インターネット輸出入総合システム

案件情報検索条件設定画面

ホーム: 会員のTOPページに戻る: 掲示板に戻る: 同主企業情報に戻る

無税委託期間	<input type="checkbox"/> 通関手続迄... <input type="checkbox"/> 保税倉庫... <input type="checkbox"/> 陸上輸送... <input type="checkbox"/> 海上輸送 <input type="checkbox"/> 荷役... <input type="checkbox"/> 保税			
輸出入区分	<input type="checkbox"/> 輸出 <input type="checkbox"/> 輸入			
<仕向地情報>	仕向地 (輸出处)	北米/U.S.A	国境 (国境)	ロサンゼルス/LOS
	積港 (積港)	日本/Japan	港	横浜/Yokohama
	出荷予定	2000/08/01	~	2000/08/31
<国内輸送情報>	陸送	本海運	横浜/Yokohama	
	保税倉庫	横浜/Yokohama		
当事業年度: 2000/03/01 から 2000/03/31 まで				
検索開始		リセット		

掲示板に戻る

ページが正常に読み込まれました

- ・輸出入案件情報掲示板に表示したい案件の検索条件を設定する
 業者が案件を検索したい場合この画面より検索条件を登録し、検索開始ボタンを押すと
 条件に合った案件が輸出入案件情報掲示板に表示される。

【図11】

◆案件詳細情報表示(1/2)

インターネット輸出総合システム

案件情報詳細表示画面

ホーム 会員のTOPページに戻る 掲示板に戻る 荷主企業情報に戻る

現在、**ooo** 社が協賛済みです。

1. 荷主基本情報

荷主コード・名称	
所在地・電話番号	

2. 荷主案件情報登録

輸出入区分	<input type="radio"/> 輸出 <input type="radio"/> 輸入	船名 (任意)	
案件コード・名称			
契約形態案件			

	品目	品質・材質	M3	重量kg	荷姿	箱数
<貨物情報>						
	備考					

<仕向地情報>	仕向地 (輸出地)	通関 (積港)
	積港 (通関)	港
	時期	2000/03/01 ~ 2000/03/31

※ ページが複数あります

・案件情報の内容を確認する為の表示処理

荷主コードは、ログインIDより自動的に表示され、案件コードをいれると
案件内容が自動表示される。

この画面に移る前に選択された案件が自動表示される。

【図12】

◆案件詳細情報表示(2/2)

2. 荷主案件情報登録

輸出入区分 ☐ 輸出 ☒ 輸入 船名 (任意)

案件コード・名称

契約条件

	品目	品質・材質	M3	重量kg	荷姿	個数
<貨物情報>	備考 <input type="text"/>					
<仕向地情報>	仕向地 (積出地)	積港 (積港)				
	積港 (積港)	港				
	時期	2000/03/01	～	2000/03/31		
<国内輸送情報>	<input type="checkbox"/> 陸送					
	<input type="checkbox"/> 保税倉庫					
	<input type="checkbox"/> VANNING					
	<input type="checkbox"/> 通関					
<業務委託範囲>	<input type="checkbox"/> 通関手続 <input type="checkbox"/> 保税倉庫 <input type="checkbox"/> 陸上輸送 <input type="checkbox"/> 海上輸送					
	<input type="checkbox"/> 荷役 <input type="checkbox"/> 保険					
	応募受付期間	2000/03/01 から 2000/03/31 まで (必須入力)				
	集荷指示期間	2000/03/01 から 2000/03/31 まで (本登録の場合応募受付期間と同じ)				
その他コメント <input type="text"/>						

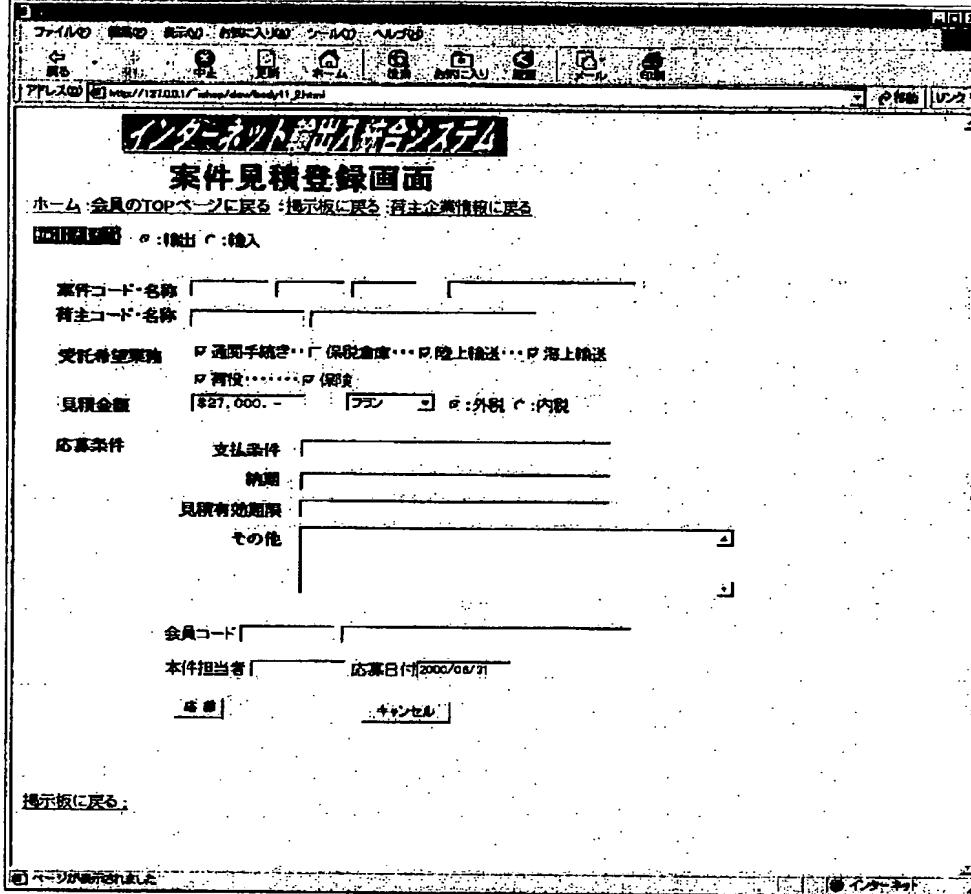
[指示板に戻る](#)

ページが読み込まれました

見積登録ボタンを押すと見積もり登録画面が表示される。
通常、業者はこの画面で案件の内容を確認し見積もりを行う。

【図13】

◆案件見積登録



インターネット入行システム

案件見積登録画面

ホーム・会員のTOPページに戻る・掲示板に戻る・荷主企業情報に戻る

印刷 検索

案件コード・名称

荷主コード・名称

受託希望業務 ☐ 通関手続き ☐ 保税倉庫 ☐ 陸上輸送 ☐ 海上輸送
☐ 荷役 ☐ 保税

見積金額 ¥27,000.- フラン ☐ 外税 ☐ 内税

応募条件

支払条件

納期

見積有効期限

その他

会員コード

本件担当者 応募日付 2000/06/21

登録 キャンセル

掲示板に戻る

メモリが解放されました

インターネット

- ・各輸出入遂行業者が応募したい案件を選択し、見積登録を行う
 案件詳細情報画面から遷移してきた場合は、自動的に案件コードと荷主コードがセットされる。
 見積内容を入力したら、応募ボタンを押して、見積を登録する。

【図14】

◆本船マスター情報登録

インターネット総合システム

本船マスター情報登録

[ホーム](#) [会員のTOPページに戻る](#) [船会社情報に戻る](#)

会員コード	<input type="text"/>					
本船コード・船名	<input type="text"/>					
船舶情報	LOA	<input type="text"/> m	D.W.T	<input type="text"/> t	船幅	<input type="text"/> m
	コンテナ区分	<input type="text"/>	エンジン	<input type="text"/>	シャフト	<input type="text"/>
	カーゴギア	<input type="text"/>	ブリック	<input type="text"/>	ブリック数	<input type="text"/> m
	船種	<input type="text"/>				
船籍港	<input type="text"/>		コールサイン	<input type="text"/>		
船会社コード (オペレーター)	<input type="text"/>		所有者 (オーナー)	<input type="text"/>		
GROSS WT	<input type="text"/> t	NET WT	<input type="text"/> t			

[船会社情報に戻る](#) [本船動静予定一覧に戻る](#)

ページ表示終了しました

・本船の基本情報の登録処理

船会社が本船の基本情報を登録する画面

ログイン時のユーザーID(会員コード)より、会員コード・名称が自動表示される。

会員コードは、変更して登録する事は出来ない。

【図15】

◆本船マスター情報変更・取消

インターネット船出入統合システム

本船マスター情報変更・取消

ホーム 会員のTOPページに戻る 船会社情報に戻る

処理区分 ☐ 変更 ☒ 取消

本船コード・船名

会員コード

本船コード・船名

船舶情報

LOA	<input type="text" value=""/>	m	D.W.T	<input type="text" value=""/>	t	船種	<input type="text" value=""/>
コンテナ区分	<input type="text" value="コンテナ船"/>						
エンジン	<input type="text" value="ディーゼル"/>	シャフト	<input type="text" value="レ・フッドンネル"/>		プロップ直径	<input type="text" value=""/>	
カーゴキア	<input type="text" value="デリック"/>						

国籍

船種

船名

船会社コード (オペレーター)

所有者 (オーナー)

GROSS WT t | NET WT | t |

ページが読み込まれました

・本船マスター情報変更・取消処理画面

一旦登録された本船の基本情報の変更・取消を行う。
この処理は、最初に登録した会員コードでログインした会員のみが行える。

処理区分と本船コードを選択すると登録内容が表示される。

* 但し、混乱を避けるため本船コード・船名等主要項目は、変更できない。
この場合一旦取消処理を行い、新たに登録する必要がある。
削除された場合これに関連する動静情報も削除され、
本船動静情報一覧その旨が表示される。

【図16】

◆本船マスター情報表示

インターネット船管理システム

本船マスター情報表示

[ホーム](#) [会員のTOPページに戻る](#) [船会社情報に戻る](#)

会員コード	<input type="text"/>		
本船コード・船名	<input type="text"/>		
船舶情報	LOA	<input type="text"/> m	D. W. T
	コンテナ区分	<input type="text"/>	船幅
	エンジン	<input type="text"/>	シャフト
	カーゴギア	<input type="text"/>	フラッグ国
国籍	<input type="text"/>		
船舶港	<input type="text"/>	コールサイン	船舶TEL
船会社コード (オペレーター)	<input type="text"/>	所有者 (オーナー)	<input type="text"/>
GROSS WT	<input type="text"/> t	NET WT	<input type="text"/> t

[船会社情報に戻る](#)
[本船マスター情報登録に戻る](#)
[本船動静予定一覧に戻る](#)

ページが表示されました

・本船の基本情報の表示画面

会員コードは、ログインIDより自動的に表示され、本船コードをいれると内容が表示される。

本船動静情報一覧画面等から遷移した場合は、この画面に移る前に選択された本船マスター情報が自動表示される。

【図17】

◆本船動静情報登録

インターネット船出入総合システム

本船動静情報登録

[ホーム](#) [会員のTOPページに戻る](#) [船会社情報に戻る](#)

本船動静コード			
会員コード			
本船コード			
配船No.	VOY. No.		
空きスペース	m3		
前港	シンガポール	ETA	~ ETD
国内/国際	シンガポール	ETA	~ ETD
次港	シンガポール	ETA	~ ETD
ドック予定日付			

[船会社情報に戻る](#)

ページが正常に読み込まれました。 インターネット

・本船の動静情報登録処理画面(各船舶の動静を登録する)

本船動静コードは自動的に採番される。

会員コードは、ログインIDより自動的に表示され、本船コードをいれると本船マスターより船名が表示される。

本船の動静及び空き情報をその都度登録する。

【圖 18】

The screenshot displays a web application interface for managing ship status information. At the top, there's a header with navigation links and a search bar. The main heading is "インターネット船出入総合システム" (Internet Ship Management System). Below it, the specific function being accessed is "本船動静情報変更・取消" (Change/Cancellation of Own Ship Status Information).

A horizontal menu provides quick access to various sections: ホーム (Home), 会員のTOPページに戻る (Return to Member's TOP Page), 船会社情報に戻る (Return to Shipping Company Information), and others. A search or filter section allows users to specify criteria like "船運区分" (Shipping Division) and "船名" (Ship Name).

The central part of the screen contains several form fields for entering or updating ship-related data:

- 本船コード・船名** (Own Ship Code & Name): Includes a dropdown for code (e.g., 1235) and a text field for name (e.g., ABC海運タンカー).
- 本船動静コード** (Own Ship Status Code): Similar dropdown and text field.
- 船種** (Ship Type): Dropdown menu.
- VOY. No.** (Voyage Number): Input field.
- 前港** (Origin Port): Dropdown menu (e.g., シンガポール).
- 国内D-テーション** (Domestic D-Terminal): Multiple dropdown menus for different terminals.
- ETA / ETD**: Fields for Estimated Time of Arrival and Departure.
- 次港** (Next Port): Dropdown menu (e.g., シンガポール).
- ドック予定日付** (Docking Scheduled Date): Calendar-style input fields.

At the bottom, there are buttons for "登録" (Register/Save) and "キャンセル" (Cancel). A footer note indicates "ページが読み込まれました" (Page has been loaded).

- ・本船動静情報変更・取消処理画面
一旦登録された本船の動静情報の変更・取消を行う。
この処理は、最初に登録した会員コードでログインした会員のみが行える。
変更したい本船コードをリストボックスから選択すると、
該当する本船の動静情報が次のリストボックスより選択可能となる。
- * 削除された場合これに関連する動静情報も削除され、
本船動静情報一覧その目が表示される。

◆本船動静情報一覧

・本船動静情報一覧に表示したい内容に関して検索条件を設定する
検索条件設定ボタンを押すと検索条件設定画面が表示される。
詳細ボタンを押すとその本船の動静情報が表示される。

【図20】

◆本船動静情報検索

インターネット船情報システム

本船動静情報検索

ホーム 会員のTOPページに戻る 船会社情報に戻る

比向地	シンガポール	シンガポール	シンガポール
航路(船名/船種)	神戸	ETA(From~To)	~
	神戸	ETA(From~To)	~
	神戸	ETA(From~To)	~
船形船	コンテナ船		
船会社コード			
オペレーター			

検索開始 リセット

本船動静予定一覧に戻る

- ・本船動静情報一覧に表示したい内容に関して検索条件を設定する
 荷主が本船を手配しようとする場合、手配したい本船の条件を指定する。
 検索開始ボタンを押すと、本船動静情報一覧画面に該当する本船の動静情報が表示される。

【図21】

◆本船動静情報詳細表示

インターネット船出入総合システム

本船動静情報詳細表示

ホーム 会員のTOPページに戻る 船会社情報に戻る

本船動静コード				
会員コード				
本船コード				
配船地	VOY. No			
空きスペース	m3			
前港				
国内ローテーション	ETA	///	~ ET	///
	ETA	///	~ ETD	///
次港	ETA	///	~ ETD	///
ドック予定日付	///	~	///	

本船マスター情報表示 見積依頼 キャンセル

本船動静情報一覧に戻る

ページが表示されました

・本船の動静情報の表示

会員コードは、ログインIDより自動的に表示され、本船動静コードをいれると内容が表示される。

本船動静情報一覧画面等から遷移した場合は、この画面に移る前に選択された本船動静情報が自動表示される。

見積依頼ボタンを押すと本船手記見積依頼画面に移る。

【図22】

◆本船手配見積依頼

インターネット船管理システム

本船手配見積依頼

[ホーム](#) [会員のTOPページに戻る](#) [船会社情報に戻る](#)

本船船静コード	<input type="text"/>
見積依頼案件コード・名称	<input type="text"/>
依頼社コード	<input type="text"/>
見積期限	<input type="text"/>
依頼者コメント	<input type="text"/>

[本船動静情報一覧に戻る](#)

・荷主が本船動静情報一覧より選択した本船の利用に関して見積を依頼する
 本船動静情報画面から遷移してきた場合は、自動的に本船動静情コードが
 画面にセットされる。

依頼内容を入力したら、応募ボタンを押して、見積を依頼する。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.